

事業報告（令和7年度）

みどりデイサービスセンター

本年度は、利用者の生活意欲の向上および社会参加の促進を目的に、新たな取り組みとしてe-スポーツ活動を導入し、利用者の参加意欲や交流機会の創出を図りました。

また、行事・レクリエーションの一環で、出張バーテンダーによるイベントや出前ラジオ企画を実施し、日常とは異なる体験を提供することで、精神的な活性化に努めました。

一方で、利用人数については、年間を通じて伸び悩む結果となりました。要因として、利用者の逝去や医療・介護度の重度化による施設入所が重なったことに加え、新規利用者の確保が十分に進まなかったことが挙げられます。そのため、全体的な稼働率は前年と比較して低下しました。このような状況を踏まえ、次年度は既存利用者の継続利用支援を強化するとともに、地域や居宅介護支援事業所との連携を一層深め、新規利用者の獲得に向けた取り組みを進めてまいります。また、e-スポーツをはじめとした特色ある活動を継続・発展させ、選ばれるデイサービスを目指していきます。

GH みどり

今年度2件の骨折を伴う介護事故がありました。各入居者様の状態を再確認、優先順位の確認を行い、再発防止に努めていきます。

新型コロナウイルス感染対策を取りながら花見・紅葉外出、町の行事でもあるりんご灯まつり見学を行いました。季節ごとに行事を行い多くの入居者様が参加され気分転換を図ることができました。引き続き面会制限など感染対策は続きますが、入居者様に楽しんでいただけるように行事を行っていききたいと思います。

管理者1名異動となり新体制での配置となりました。管理者間で各ユニットの情報を共有しながら、業務を円滑に行うよう取り組んでいます。

今後も入居者様の希望を確認しながら「自分らしく」過ごしていただけるよう空間づくりを行い、満足して過ごしていただけるよう取り組んで参ります。

元気町デイサービス

令和7年度、事業実施にあたっては新型コロナウイルス感染症の影響により利用者様の感染や利用控えが発生したことに加え、大雪等の天候不良による利用控えも重なり、延べ利用者様数及び稼働率は前年に比べ低下し、事業収益も減少しました。また、新規利用者様の受入

れはあったものの、利用者様の状態変化や逝去等により全体として利用者様数は減少傾向となりました。

そのような状況の中、感染症対策として手指消毒、マスクの着用、換気、健康観察等徹底するとともに感染発生時には関係機関と連携し適切に対応いたしました。また、大雪時には安全を最優先とした送迎体制の確保に努め、利用者様及びご家族様への迅速な情報提供を行い、安心して利用できる環境づくりに取り組みました。

サービス提供においては、利用者様一人ひとりの状態に応じた個別ケアを重視し、入浴、排せつ、食事等の介助、レク等を通じて認知症ケアの質の向上に努めました。

人材育成の面では、外部研修として労務管理研修に参加し、内部研修として業務継続計画（BCP）に関する研修、身体拘束・虐待防止研修、接遇研修及び認知症研修を実施し職員の資質向上と適切なサービス提供体制の強化を図りました。新たに看護師 1 名を採用し、健康管理体制の充実を図りました。

今後は感染症や自然災害発生時における事業継続体制の強化を図るとともに、利用率の回復及び安定した事業運営に向けた取り組みを進め、引き続き地域福祉の向上に努めてまいります。

玉松ホーム

令和 7 年度では 5 名の方が新規入居されております。

施設全体の平均介護度 2.6。ホーム 1 の平均介護度 2.8。ホーム 2 の平均介護度 2.4。

新規入居者様が増えた事により、施設全体の介護度は低くなっておりますが、ADL の低下が見られる入居者様が多く、状態を見極めてサービス提供に努めてまいりました。

新型コロナウイルス感染により、ホーム 1 の入居者様 7 名が感染致しました。感染対策施行にて、入居者様全員に感染する事態は防ぐことはできましたが、高齢者がコロナウィルスに感染する事で、体力、免疫力低下のリスクが伴いますので、クラスターの経験を今後の感染対策に活かして行けるように努めてまいります。

ヒヤリハット・事故報告書件数 7 件（転倒 6 件、爪切り介助時の出血 1 件）

打ち身や骨折・感染症等が ADL 低下のリスクとなりますので、日々の申し送りでの状態把握・情報共有に加え、ミーティング時に入居者様の予見可能性について、意見を出し合い課題解決に努めてまいります。

年間行事においては、施設内での催し物（おやつ作りやゲーム大会）と、外に出での気分転換や地域の方々との交流を図れるように計画し行いました。感染症の流行等にて制限され

る部分も有りましたが、入居者の皆様楽しく参加されておられました。

研修への参加により、新しい知識や技術等の学び、職員間で共有する事により職員1人1人のスキルアップをはじめ、サービスの質の向上や新たな取り組みに繋げて行けるように学んでまいりました。次年度に向け、個々の知識や技術を生かし、新たな挑戦に取り組んでいけるよう工夫してまいります。

かもめデイサービスセンター

令和7年度では、お陰様で新規利用者様も順調に増えてきておりましたが、高齢化や機能低下などで入退院を繰り返す方、自宅での生活が困難となり施設入所される方が多く、利用中止となる方も増え一日平均利用者数も減少となりました。

その為常日頃より、状態観察には十分注意し業務して参りました。

行事では毎月の季節にあった行事を行い、施設内での行事に力を入れ取り組んで参りました。

敬老会では慰問の方に来ていただいたり、クリスマス会や夏祭り等では職員の踊りや余興で楽しんで頂きました。

レクリエーションでは身体や認知面の影響から中々運動が難しい方でもゲームを通して運動や脳トレを行う事を目的とし、7月よりUDe-スポーツオンラインシステムを取り入れる事にしました。オンラインを行う為の機械の初期導入費を、理事より寄付して頂きました。他県の施設ともオンラインで対戦できる為利用者様も

楽しみながら普段のレクリエーションで一生懸命練習しております。製作活動にも力を入れ10月に行われた油川市民センター祭りには利用者様に製作して頂いた作品を展示致しました。

災害時に対する年2回の避難訓練では、利用者様へ災害時の避難場所の確認や、自宅での災害時の備え等を利用者様に説明し防災教育も行いました。

又、月1回行う職員間のミーティングでは、利用者様の状態の把握や業務で改善すべき事などを話し合い、より良いサービス提供が出来る様取り組みをしています。

今後も利用者様一人一人の声に耳を傾け、御家族様、ケアマネージャーとも連携をとりながら、満足頂けるよう努めて参ります。

みどりホーム

入居者様、ご家族様のご理解とご協力により15年目を迎える事ができました。

安心・安全を基本方針として入居者様との関わりを大切に、日常生活の中から身体的・精神的な些細な不調を察し、医療へ繋げることにより、看取り介護や緊急時に迅速に対応できる体勢を整えております。今まで培ってきたものを活かし、安定したサービスを心掛け、安心して穏やかに生活して頂けるように維持していきます。ご家族様との関わりも大切に、遠方の方へは定期的に状況をお伝えし安心して頂いております。

防災管理につきましては地震や火災等を想定しての避難訓練を定期的の実施し、非常用物品の備蓄と発電機やバルーンライト等を備えております。

感染症につきましては、防止対策継続、感染者発生時の早急な対応により、まん延防止に努めて参りました。

ささやかでも入居者の皆様に楽しんで頂けるように、プランターのお花を育てたり、行事として敬老会・クリスマス会・開設記念食事会等を楽しんで頂いております。今後は気分転換のため外出できる機会を検討・実施したいと考えております。

みどりヘルパーステーション

昨年10月より「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」をスタートする事ができました。現状まだ2名のみの利用となっておりますが、問題なくサービスを提供する事ができています。今後は職員体制を整え「訪問介護」と「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」を利用者様の希望に添い行き届くようにしていきたいと思っております。

利用者・ご家族様

「訪問介護」「居宅介護」「定期巡回」合わせ24名の利用者様がいます。

コロナが始まり6年が経ち面会等の制限も緩和され、利用者様・ご家族様には喜ばしい事であると共に、感染症への意識が希薄になってきている様子も感じられます。昨年は5名の利用者様が陽性となりました。幸い皆様経過は良好でしたが、急変も十分考えられます。今後も感染症対策には十分留意していきたいと思っております。

職員体制

現在15名の職員にて対応しており、上記24名の利用者様を1日5名程で対応しています。不備無くサービスの提供はできているものの、職員の調整が難しい場面も多々あります。人員の確保が難しい中、職場環境の整備、現職員のスキルアップ底上げを行い、事故防止に努めていきます。